

2004年9月号

ほくし

発行所

社団 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号
プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046



平成十六年度 第一回総会(通常)

H16.5.27

博章先生が指名された。続いて黒川会長が挨拶に立ち「今期は3つの柱としてIT化推進と病診連携、未



社団法人大阪北区歯科医師会は去る5月27日午後6時半より新阪急ビル12階スカイルームにて平成16年度第一回通常総会を開催した。多田議長より開会宣言がなされた後、三輪庶務理事により点呼が行なわれ、会員数207名、定員数104名で、当日出席者数51名、書面表決79名、委任状提出22名、各合計152名で総会の成立が報告された。大西副会長より開会の言葉があり、議事録署名人には6班渡辺道雄先生、8班橋本

入会問題に対して積極的に取り組み成果を挙げつつあります。」等の挨拶があった。続いて会員の先生方に日頃の会務へのご協力に感謝の意を述べられ、本日の総会においては平成15年度決算についての議案が提出されており、慎重審議の上御可決をお願いしたいと挨拶を終えた。次に府歯神馬常務理事より夜間緊急歯科診療や時局問題についてのお話があった。報告理事として、平成15年度会務報告は東郷専務理事より、同年度福祉共済制度報告は野口理事より行われた。次いで議事に移り、第1号、第2号議案が安田常務理事より提案された。樋口監事により監査報告がなされた後、両議案は会員に送付した資料通りに無事可決承認された。最後に橋本副会長の閉会の言葉に続き、多田議長による閉会宣言で無事総会を終えた。



「春風秋雨」という言葉が好きだった金田一春彦氏が逝去された。「春風秋雨」とは、人生は春の花が咲く頃に、風が吹いて散ってしまったりと、秋の紅葉の頃に雨が降って散ってしまったりと、ままたまらないことがしばしばあるという意味である。春彦氏は、父である金田一京助氏から手渡されたアクセントと方言の2冊の本に興味を持ち大学に進み、全国にアクセントの研究に駆け巡った。大変な苦労だ。例えば「あめ」と言う言葉のアクセントを調べるとき、「あめ」と言う言葉を発音すると真似をするので、空から水が落ちてくるのは何かと尋ね「雨」と発音させ、口の中に入れる甘い物は何かと尋ね「飴」と発音させるといった苦労があったそうだ。その様な苦労から後に「吉展ちゃん」事件では犯人の出身地を割り出す事ができた。私は、春彦氏の壮年期は、「春の風も秋の雨も耐え忍ぶ」そのような人生だろうと思う。晩年、金田一春彦氏は、今は残り少ない時間の中で春の風も秋の雨も楽しみたいといわれていた。

(Y)

パノラマ

「春風秋雨」という言葉が好きだった金田一春彦氏が逝去された。「春風秋雨」とは、人生は春の花が咲く頃に、風が吹いて散ってしまったりと、

新聞を賑わす事件、数年前の雪印の事件や、最近の鳥インフルエンザ事件、ハシナンの牛肉事件、三菱自動車の一連の事件等を見てみると戦後の経済最優先の日本の世相を垣間見る様な気がする。大きな流れとしての日本社会が、生産者中心社会から消費者中心社会へと移行する退渡期の苦しみの様なものだろう。又、これらの問題の根底には戦後の教育から宗教的なものが排除された結果、「罰が当る」と

か「神が見てござる」など心の歯止めになるものが昔の日本人に比べ少なくなっていることも大きな原因の様な気がする。我々も日歯会長が逮捕さ

ればならないと思う。そんな中で府歯の夜間緊急歯科診療がスタートし沢山の人が受診されていると聞く。素晴らしいことだと思し、この様な公共性の高い地道な活動こそ歯科界に対する信頼回復に寄与すること大なるものがあると思う。

論説

最近思うこと

副会長 中谷 勝

れるという前代未聞の事件が起り大変なショックを受けたが、もとよりこれで歯科医療の重要性や尊厳が損なわれるものではないけれども、真摯に受け止める

患者さんにとっても、我々を支えてくれる従業員や多くの業者にとっても、勿論歯科医にとっても、よい歯科界でありたいと思う。

学術講演会

(北区民センター)

H16 7.7

平成16年7月7日午後7時より北区民センターにおいて70名が出席されて講師大阪大学歯学部附属病院口腔総合診療部教授 前田芳信先生により歯科から快適な睡眠をいびきから睡眠時無呼吸症まで一の要旨で講習会を開催した。

をあげて国民の認識を獲得し、本年の4月には一定の条件のもとに口腔内装置が健康保険の適応となるにいたりしました。しかしながら、このことは1980年代の後半から、90年代のはじめにかけて北米ですでに大きな問題となり、いろいろな解決のアプローチに加えて歯科的方法が試みられてきたもののなのです。その中で明らかになって



第53回全国よい歯のコンクール

北区代表者選考会

H16 5.13

歯の衛生週間事業の一環として行なわれる「全大阪よい歯のコンクール」の北区代表選考会が5月13日北区保健福祉センターにおいて行なわれました。



対象者は平成15年4月1日から16年3月31日までに3歳児歯科健康診査を受診した幼児とその母親もしくは父親です。

本年度は対象者総数668人のうち78・3%の523人が受診されました。その中で、う歯・不正咬合等のない幼児とその母親7組が代表者選考会に選ばれ(うち2組当日欠席)、歯牙、歯肉、歯列、口腔清掃状態などの分野において厳正に審査を行い、最優良の1組を北区代表として選出しました。その後、表彰式、黒川会長による総評があり閉



きたことは、いびきならびに無呼吸状態が睡眠の質を大きく損なうばかりでなく全身の健康に影響するものであること、歯科的方法によってかなり改善が望めることです。これらの歴史的な背景をふまえて、いびき、睡眠時無呼吸症の原因とその症状に応じた効果的な口腔内装置の適応についての具体的なお話しを頂いた。会員に対し、口腔装置に深く認識を与えられ、興奮の中に終了時間となった。

(学術部 宮崎 哲記)

IT化推進委員会開催

H16 5.26

会しました。尚、代表者の米永真由美さん、涼香ちゃん親子には6月に開催される「全大阪よい歯のコンクール中央審査会」に参加していただきます。

(地域医療部 阪本光伸記)

5月26日午後7時より、北区歯科医師会事務所において、第1回IT化推進委員会が開催された。黒川森夫会長の号令のもと、須田宜之・西川久義・大西馨・東郷達夫・宮崎哲・大塚俊裕・大和寛の各先生方が出席され、黒川会長の挨拶の後、須田委員長・西川副委員長が黒川会長指名により選出された。黒川会長から須田委員長に諮問書が提出され、情報伝達的手段として欠かすことのできないインターネットの活用により、対外的および対内的にいかんIT化を推進すべきか、その具体的な方策について諮問された。なお、当委員会の役割は全体の方向付けを決定するだけにどめ、HP作製等の具体的な作業等については下部分科会を立ち上げて、そこに委ねることとなった。

菅南幼稚園歯磨き指導

H16
6.1

6月1日、中谷副会長の御指導の元、園児には歯に対する関心を持たせ、保護者には仕上げ磨きの大切さを気づかせる目的で、歯磨き指導を行いました。年少



組と年中、年長組に分れて大阪府歯科衛生士会の衛生士が、紙芝居や、エプロンを使ったオリジナルの説明道具を用いて歯磨きの大切さを園児に教え、歯磨き指



導をしました。その後、保護者参加での歯垢染め出し検査をし、楽しい雰囲気の中で、仕上げ磨きをしてもらいました。最後に保護者を対象に、大阪市学校歯科医会の岡本先生に、歯と口の健康と生活習慣について、食生活習慣、唾液の働き、噛むことの大切さ、などを交えて講演していただき、保護者も歯の大切さを再認識したようでした。

(地域医療部 谷口浩康記)



菅北小学校歯科講習

H16
6.16

6月16日水曜日13時30分から14時30分まで、菅北小学校において恒例の歯科講習が行われました。

対象者は6年生47名で、講師は学校歯科医の樋口忠彦先生監督の下、樋口歯科の衛生士さん方が昨年から担当されていて、好評を博しています。

基本的なスタイルは昨年と変更なく、唾液の重要な働きについて、一日の唾液量を表現するペットボトルや、紙芝居風の小道具を効果的に用いて、小学生にもなるべく理解しやすいように工夫をされた内容で、衛



生士さん達の苦勞のあとが大変よくわかりました。講義のあとの実習では全員で3分間のガム咀嚼刺激



唾液を採取した後、各人の唾液緩衝能を試薬を用いて測定しました。生徒達はその結果に一喜一憂で大変な盛り上がりでした。最後に樋口先生が総括し、歯の大切さを訴えておられ

訃報



津村 勝 先生

平成十六年六月二十日死去
御略歴

明治四十三年一月三日生

昭和六年

大阪歯科大学専門学校卒業

御自宅

奈良市百楽園三十一一三



津村 薫 先生

平成十六年七月三十日死去
御略歴

昭和十七年九月三日生

昭和四十二年

大阪歯科大学卒業

御自宅

奈良市百楽園三十一一三

『弔辞』

第6班 吉田 興二

津村薫先生のご霊前に謹んで申し上げます。

61年の生涯を終え、安らかなる国へ旅立たれたわが友よ。私はあなたの友人となれたことをこの上もない幸せであったと今しみじみ感じています。

昭和36年大阪歯科大学へ入学されてすぐにワンダフオーゲル部へ入部されました。私が三年生でリーダーをしている時があなたとの



ました。生徒達の態度は私語も少なく、熱心に聞いている様子で、なかなか感心だったと思います。

(地域医療部 溝上修平記)

出会いでした。

昭和47年私が大阪市北区で開業した時再会いたしました。それから以後北区歯科医師会の学術部の部員、院内感染委員会の委員等25年間に渉り私と共に活動致しました。君はいつも周りの人達に心配りをして明るくユーモアの有る話をして楽しませて下さいましたね。一生涯を通して本当に心許せる大切な友人でした。この40数年間の厚い友情に今深く感謝致します。

津村薫先生、さようなら。

北歯ゴルフ同好会春季コンペ

H16
4.11

四月十一日(日) 北歯ゴルフ同好会春のコンペが行なわれた。ゴルフよりも花見をした方が良さそうな桜満開でのプレーとなった。矢追秀純先生のお世話で西宮高原G・Cに二十名のゴルファーが朝早くより集合、O U Tコースよりスタートした。前半トップで折り返した三宅先生はI Nコースでは優勝スピーチを考えすぎ二番目のショートホールで大叩き三位に後退した。優勝は当コースを知ら尽くした矢追先生、

後半猛追した三浦先生は、同ネットだが惜しくも二位になった。

今回は十一月三日(水)文化の日に関西クラシックG・Cで開催される予定です。多数の先生方の御参加をお待ちしております。



フットサル同好会発足

「フットサル」とは簡単に言うと「ミニサッカー」。サッカーと比べ、人数が半分(5対5)、コートが4分の1なので、少し仲間を集め、いつでもどこでも簡単に出来るスポーツです。



この度理事会にて正式に同好会として認められました。現在宝塚のフットサルドームを拠点に女性、子供を交えたプレーから他チームと本格的な練習試合、大会と月1回程度きもちいい汗をかいております。初心者、年齢など気にせず御気楽にお友達、スタッフ、お子さん等お誘い合わせの上ご参加お待ちしております。



8班・陶 英彦

(朝日大・平成3年卒)



新入会員

5班・中谷 徹

(大歯大・平成5年卒)



14班・瀧田 正亮

(岐阜歯大・昭和53年卒)



5班・西 治

(北海道医療大・平成3年卒)



(診) 済生会中津病院

北区芝田二一三九

電 六三二一〇三三三

F 六三二一〇七八六

(自) 中央区上本町西三

一〇九一〇一

電 六六五〇四四五

F 六六五〇四四五

(趣味) 山登り

(診) 造幣局診療所

北上天満一〇七九

(自) 寝屋川市萱島東二

九一三三

電 〇七二八三五四九

編集後記

秋風が吹いて来ました。「ほくし」167号の発行です。遅くなり深謝致します。(M)